

第3回葉山町公共施設等総合管理計画策定委員会 議事要旨

日 時：平成28年12月12日（月）14：30～16：00

場 所：葉山町役場 議会協議会室1

出席者

委 員：饗庭伸、藤村龍至、中村和雄、中世貴三、宮寺透雄、小川敏生、山本牧人

事務局：小山誠、行谷友良、長谷川宣治、臼井秀昭、河地大輔、丸山さつ紀

町田伸、大前正嗣

受注者：国際航業(株) 北沢、島田、池田

1 議事

資料13、資料14について順次、事務局より説明。

(1) 公共施設等に関する町民意識調査結果について

問1について

(饗庭委員長)

p13の「利用しなかった理由」の内、「利用したいができなかった」という回答が図書館やしおさい博物館で目立っている。また、町民いこいの家は「存在や内容を知らなかった」、図書館は「他市町村国県施設を利用した」人がやや多く、これらのことは、注意した方が良いと思う。

委員からの率直な感想や町民感覚とのずれ等はないか？

(藤村副委員長)

町内会館を80%の人が「必要なかった」と回答しているようだが、本当に必要ないのだろうか？

(饗庭委員長)

p36に年代別の利用状況が載っている。40歳代以上の利用が多く、70歳以上は特に多くなっているが、感想はいかがか？

(中村委員)

今は身近な施設と感じている。利用状況はp36の年代別のグラフどおりだと思われる。40歳代が割合使っているが、50歳代は社会的責任が重くなってそれどころではなくなるのか、年代順に利用状況が上がっていくものと考えていたがそうでもないようです。

問2～問6について

(饗庭委員長)

委員からのご意見・感想はいかがか？

(山本委員)

障害福祉関連の施設等は、関係している人でないと認知度が低い傾向にある。

公営住宅の必要性は、こういったことによるものか？

(事務局)

町営住宅は低所得者層などの人達を対象としているが、入りたい人が入れない状況などの課題があると認識している。

(中村委員)

公園の維持管理を町内会が行うという案も挙げられているが、町内会ができることは清掃程度で、大きな木の枝を切ったり、フェンスや遊具を修理したりするようなことは無理である。

(藤村副委員長)

近隣自治体との連携という観点で、行っていることはあるのか？

(事務局)

町民の健康増進のために、横須賀市にある施設と逗子市にあるプール、アリーナについて、利用する町民に対し助成金を支出している。

(山本委員)

私も町に申請して利用券をもらい、逗子市の施設について利用している。近いため、重宝している。まだ施設利用に余裕があるようであり、連携することでさらに利用性が増すのでは。

(2) 葉山町公共施設等総合管理計画策定委員会「提言書」の作成について

検討課題等について

(饗庭委員長)

資料14について、事務局が考えた5つの項目(これまでの委員会の主な意見)を踏まえているがこれで良いか？

(中村委員)

図書館を魅力的にするために、逗子市の図書館と棲み分けや連携することが良いと思う。雑誌主体にしたり、今の蔵書スペースを別の用途にしたり、色々考えられる。

(藤村副委員長)

現在の30代~40代が高齢化することも考える必要がある。70歳以上になると行動範囲が狭くなるため、町民会館の役割が重要になってくることを考える必要がある。スポーツ施設についても、介護予防や身体機能を維持するという意味で、広域連携や学校施設開放が重要になってくる。

(饗庭委員長)

民営化や民間の参入等についてはいかがか？

(藤村副委員長)

色々な形態が考えられる。民間事業者が参入するケース、町内会の方々が経験を積んで公園や町内会館を運営するケース、NPO法人が指定管理者となるケース等がある。

今後の公共施設の管理・運営、有効活用について

・学校について

(饗庭委員長)

学校そのものの話と一般開放の話があり、学校に色々なものを複合化していくという話もある。個人的には量をいきなり減らさなくても良いと思う。

(小川委員)

学童保育との連携の関係もあり、学校の数は減らさなくても良いと思う。

(中世委員)

色々な機能が複合されるのが良い。地域のノウハウを活用することが重要であり、実際に地域の技術を子どもたちが目にすることで葉山町を愛する気持ちが育ってくると思う。一色小では、アマモを育てる取り組みを企業や地元の漁師さんと一緒に行っています。いろいろな人が学校に入ってくるのが良いと思う。

(藤村副委員長)

現行の数については妥当だと思うが、規模については稼働率を見て慎重に考えていく必要がある。複合化は街中の葉山小、一色小ぐらいだと思う。学校の入口に近い教室を地域活動に活用することが考えられる。

・町内会・自治会館について

(藤村副委員長)

町内会館は、地域の魅力を考える上で最も重要であると思う。ここでの活動が、子育て支援、高齢者支援を考える上で重要である。場合によっては、町内会に移管することや、運営母体をNPO法人化していくことも考えられる。

(中世委員)

子育て世代が、ふらっと行ける場所が町内会館や自治会館であってほしい。

また、商店街では、NPO法人などが運営して空き店舗を利用して溜まり場的なものをつくり、そこに高齢者も加わると住み良く、活気があふれた町になると思う。

(宮寺委員)

地域の人が集まれる場所は非常に大切である。

町内会館の修繕は、町内会で負担できない部分を町にお願いしていると聞いている。各町内会で事情が異なるため、長期修繕計画を立案する際は、そのことも配慮する必要があるのでは。

町内会館・自治会館は、青少年会館と異なり予約をして鍵を借りなければならぬので機能がだいぶ違うと思われる。複合的に利用率を上げるためには工夫が必要であり、会館の地理的要因もあると思うが利用率による統合等の課題もあると思われる。

(中村委員)

町内会館は、普段あまり使われていないためさびしい感じがする。喫茶コーナーでもあれば人も集まるが、難しい。

また、町内会館は必要ではあるが、福祉の地域拠点として、もう少し狭いエリアごと

に集まれる場所があると良い。

(藤村副委員長)

他の自治体では、自治会館の建替えに伴って、喫茶コーナー、地域包括支援センター、自治会の支え合い協議会の事務局を併設している事例もある。自治会への国からの補助もあると聞いている。地域の事情もあるがイトーピアのような急速に高齢化が進んでいるような所ではふらっと行けるニーズが高まる印象がある。

・他の施設について

(中村委員)

葉桜には小さな公園が4つあるが、子ども用の遊具を年寄り向けのストレッチ器具等にすることも考えられる。

(藤村副委員長)

福祉文化会館のホールのようなものについては、別の目的にも活用できるように改造することも一つの方法である。

(中世委員)

葉山町も広いため、その施設を利用できる人は近隣に限定される。例えば、町とバス会社が契約し、学校で福祉文化会館を利用する場合には、バスを優先的に回す等の措置ができないものだろうか。その際、そのバスに高齢者も優先的に同乗できるとか。

(饗庭委員長)

「地域公共交通網形成計画」等を策定する過程で、議論することが望まれる。

(藤村副委員長)

アンケート結果の中に、児童館が午前中利用されないとの記載ある。高齢者の居場所づくりにもつながるため、時間帯を考慮した議論も望まれる。

(中村委員)

葉桜会館と児童館は同じ建物の2階と1階だが、建物内に各階をつなぐ階段はなく、各階専用の玄関があるためか、全く交流がない。

(事務局)

町内には、中村委員が発言されたような一体型の施設が4箇所ある。個人としての意見だが、実態を踏まえ見直すべきは見直したいと思う。

(小川委員)

福祉文化会館は必要ではないということではないが、利用しにくく、維持管理コストもかかっており、対策が必要だと思う。

公園については、老朽化した遊具の撤去・新設もやっているようであるが、利用者が少ないものは、自治会等と相談して、機能の転換を検討する必要がある。

(宮寺委員)

子どもが遊ばない小さな公園があり、遊具があってもほとんど使っていない公園もあるので、その土地の用途を再検討する必要がある。公園とするならば安全な範囲で多種多様なものにすべきである。「葉山町は外で遊べる施設が充実している」ということに

なると、子育て世代も多くなると思う。

(小川委員)

町民があまり知らない施設、例えば教育研究所や教育総合センターなどのことを精査することが重要である。

総括

(饗庭委員長)

非常に良い意見をいただいた。以上のことを中心に、「提言書」をまとめることとする。

(3) その他

質疑なし。

2 今後の予定について

(事務局)

次回の委員会は、3月8日(水)14:30から開始することがかがが。

(一同)

異議なし。

以 上